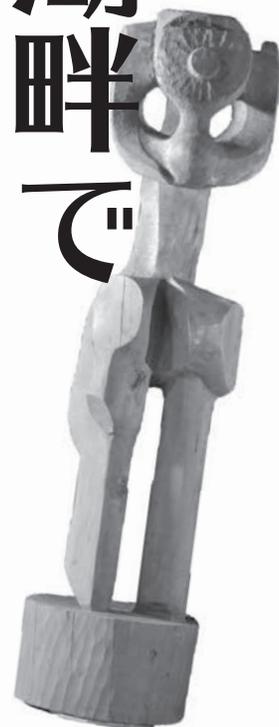


洞爺湖畔で

アートを楽しむ



魅力たっぷり

洞爺湖芸術館

洞爺湖芸術館は洞爺湖の北に位置し、昭和27年建造の旧洞爺村役場を改装した、昭和の時代の雰囲気の色濃く残した木造2階建の建物となっています。

平成18年に旧虻田町と旧洞爺村が合併し洞爺湖町となったため、使用されなくなった旧洞爺村役場庁舎を芸術館として改装。収集していたコレクションを広く一般の人に鑑賞してもらう施設として平成20年に開館しました。

洞爺湖芸術館には4つのコレクションがあります。北海道を代表する彫刻家砂澤ビッキ

キの木彫と絵画や「洞爺村国際彫刻ビエンナーレ」の入賞作品、世界的な写真家並河萬里の作品、そして日本近・現代文学の初版・限定本のコレクションです。

開館当初、町が直営で運営していたところに、芸術館をより多くの人に知ってもらいたい、盛り上げたいとの思いから、洞爺湖芸術館友の会が発足。その後、友の会が指定管理者として運営を引き継いでさまざまな事業を展開し、年間約3,500人の入館者が訪れる施設となりました。

昨年度から再び町の運営と協力しながら、特別展やワークショップを開催してき



た結果、昨年度は過去最高だった平成29年の入館者数4,152人を10月には突破し、4,596人の入館者数となりました。

洞爺湖芸術館所蔵作品 collection

砂澤ビッキコレクション

砂澤ビッキは北海道旭川市出身で、北海道を代表する彫刻家です。

没後30年を迎えた昨年は、道内各地で回顧展などが開催され、砂澤ビッキの大型作品を数多く所有し常設展示している洞爺湖芸術館はこれまで以上に注目が集まっています。



並河萬里コレクション

ユネスコ世界文化遺産主席写真家を務めた並河萬里が撮影した洞爺湖の写真が飾られています。洞爺湖の四季や人々の生活、守り継がれてきた文化財などの作品が残されていて、展示室では季節ごとに10点ほどの作品を入れ替えて展示しています。





特別展 ほしむ てる絵画展ー祈りと癒しー

特別展・芸術館ワークショップ

特別展では、幅広い世代を対象に洞爺湖芸術館の魅力を知ってもらうことを全体の目標として、町にゆかりのある芸術家の作品や芸術館に所蔵されている作品、施設の特徴を生かした作品などの展示をしています。

その他には、「展示・公開」中心の施設から「参加・体験」する生涯学習活動の場として親子・子どもが複数回来館できるワークショップ事業を行っています。



ワークショップ 鉄たたけます。



ワークショップ 動くおもちゃをつくって遊ぼう



ワークショップ 点と線で遊ぼう

芸術館 infomation

■開館期間・時間

- ・ 4月～6月 10時15分～17時
- ・ 7月～9月 9時30分～18時
- ・ 10月～11月 9時30分～16時15分

■休館日

- ・ 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）
- ・ 12月1日～3月31日

■料金

- ・ 町民無料
- ・ 個人 一般300円、高校生200円、小中学生100円
- ・ 団体 一般270円、高校生180円、小中学生90円

■問合せ

洞爺湖芸術館 洞爺町96番地3
(☎ 87-2525)



「洞爺村国際彫刻ビエンナーレ」コレクション

1993年～2007年まで、「手のひらの宇宙」というテーマで「洞爺村国際彫刻ビエンナーレ」が開催され、その入賞作品のコレクションが展示されています。

この公募展は、住民が委員会を作り、日本美術界の先端で活躍された人に審査をお願いすることができ、非常にレベルの高い作品が集まりました。

日本近・現代文学初版・限定本コレクション

このコレクションは、神奈川県横浜市在住の石島成美が、約40年をかけて収集した数千冊のコレクションの中から、1998年に旧洞爺村に寄贈された約400冊から成っていて、主に大正から昭和にかけての近代・現代文学作品の初版本・限定本・サイン本が展示されています。

